

① 今までの検討と導入施設（案）

利用者ニーズ調査結果

WEBアンケート（3月実施）

- 産地直売所・販売所または市場的な施設
- お土産等の物販所・売店
- 飲食店（食堂・レストラン・カフェ等）
- 休憩所（屋内）
- 温浴施設

小学校保護者アンケート

- 水遊び広場
- 遊具
- アスレチック
- 体験教室・講座・創作体験施設
- 小中高生の居場所となる施設

町民アンケート

- 温浴施設
- 体験教室・講座・創作体験教室
- 遊具
- 水遊び広場
- 広場・緑地
- キャンプ・バーベキュー場

子育て世代インタビュー

- 子どもの遊び場
- カフェ
- 公園や芝生広場
- 休憩施設
- 個室の授乳室やおむつ交換台

基本構想・基本計画策定のための会議体

基本構想・基本計画策定ワーキンググループ

- インターパークとの連携
- 大型遊具
- 他ではできない体験
- 水遊び広場
- ドッグラン
- おさかな市場
- コンテナハウスの活用
- 公共交通・モビリティハブ
- 地域デザインセンター
- コンビニエンスストア
- イベント広場
- 日産名車展示
- 折り紙教室（発信拠点）
- 大型モニュメント
- 防災拠点（防災道の駅）
- RVパーク

基本構想・基本計画策定懇談会

- 新鮮な農産物や海産物（大洗などから運搬）を販売・ブランド化する施設
- 地元食材等を使った食品を販売する施設
- 地元産品等を使った加工品・土産品を製造・販売する施設
- 町全体への周遊を促すPR施設
- 日産自動車と連携する施設
- ものづくり体験ができる施設
- ORIGAMIの魅力を発信する施設
- キッチンカー・チャレンジショップ 等

基本構想における導入機能

休憩機能

物販機能

体験機能

地域拠点機能

滞在機能

災害支援機能

情報発信機能

飲食機能

産業振興機能

交通結節機能

レクリエーション機能

導入施設（案）

- ① 農産物直売所（加工品・土産品販売等を含む）
- ② おさかな市場
- ③ コンビニエンスストア
- ④ レストラン・カフェ
- ⑤ 休憩・情報発信施設
- ⑥ トイレ
- ⑦ 公共交通・モビリティハブ
- ⑧ 地域デザインセンター
- ⑨ 日産名車展示
- ⑩ 折り紙教室（発信拠点）
- ⑪ 水遊び広場
- ⑫ 大型遊具（大型モニュメントを兼ねる）
- ⑬ イベント広場
- ⑭ ドッグラン
- ⑮ RVパーク※
- ⑯ コンテナハウスの活用
- ⑰ その他必要な導入施設
- ⑱ 駐車場
- ⑳ 調整池
- ㉑ 緑地

※RVパークとは：快適に安心して車中泊が出来る場所を提供するために、日本RV協会が定めた条件を満たし、認定された車中泊スペースです。

② 導入施設（案）の概要と想定規模（建物）

※高速道路のサービスエリアに設ける休憩用建築施設の一般的な技術的基準を定めたもの

導入機能	導入施設	施設の概要	面積	面積の根拠
物販機能	①農産物直売所 (加工品・土産品販売等を含む)	・ 町や周辺地域の農産物や、加工品・土産品等を販売	約900㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定した場合は300㎡だが、多彩な展開が図れるよう、農産物・土産品・加工品の3種の一体的な販売を考慮し、基準の約3倍程度と想定
	②おさかな市場	・ 友好都市である大洗町などの新鮮な海産物を販売	約300㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
	③コンビニエンスストア	・ 24時間利用できるコンビニエンスストア ・ 必要に応じ、医薬品を販売 ・ 災害時協定の締結 (非常時の食料配布や、物資保管場所の提供)	約200㎡	コンビニエンスストア3社の出店ガイドラインにより設定 ファミリーマート：小スペースでも出店可能 セブンイレブン：50～70坪（約165～230㎡） ローソン：40～60坪以上（約130～200㎡）
飲食機能	④レストラン・カフェ	・ 町や周辺地域の食材を使った料理の提供	約800㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
情報発信・休憩機能	⑤休憩・情報発信施設	・ ベンチやテーブルの設置 ・ 町の観光、暮らし、産業等の情報発信 ・ 町全体への周遊を促すPRやイベント情報の提供	約250㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
	⑥トイレ	・ 24時間利用可能なトイレ	約500㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
交通結節機能	⑦公共交通・モビリティハブ	・ 公共交通や北関東自動車との連携 ・ 次世代モビリティの導入 ・ インターパークとの連携	—	
地域拠点機能	⑧地域デザインセンター	・ 住民活動の拠点 ・ 大学などと連携した活動・研究拠点 ・ 子供、学生、社会人など、様々な年代が集い関わりを持てる場の提供	約120㎡	50人程度の収容を想定するため、「道の駅 開国下田みなと」会議室1（36.31㎡で16人収容可能）の3倍程度とする
産業振興機能	⑨日産名車展示	・ 日産自動車の展示 ・ パネルやモニターを使った展示車等の紹介	約200㎡	3台の展示を想定 車両1台当たりの面積を11.5㎡（2.3m×5.0m）、通路幅を1.8mと想定
体験機能	⑩折り紙教室（発信拠点）	・ 折り紙の体験教室、折り紙の魅力発信拠点 ・ イベント・コンテストなどの実施	約100㎡	1コマで40人程度の収容を想定するため、「道の駅 開国下田みなと」会議室2（55.93㎡で24人収容可能）の2倍程度とする
必要面積			3,370㎡	上記①～⑩の面積の合計
想定建物面積			4,381㎡	通路等を考慮し、必要面積の1.3倍を想定

③ 導入施設（案）の概要と想定規模（外構）

導入機能	導入施設	施設の概要	面積	面積の根拠
レクリエーション 機能	⑪水遊び広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>水遊びの場となる「噴水」などの設置</li> <li>夜間はライトアップ、イルミネーション、音楽などでスポット化</li> </ul>	約300㎡	「道の駅 ららん藤岡」のふれあい広場を参考
	⑫大型遊具 (大型モニュメントを兼ねる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無料遊具+有料遊具（空中アスレチックなど）</li> <li>インクルーシブ遊具（障がいの有無を問わずみんなが遊べるもの）</li> </ul>	約350㎡	「道の駅 柿の郷くどやま」のアミューズメント広場を参考
	⑬イベント広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏場の暑さ対策（屋根、ベンチ、ミストシャワー、スプリンクラーなど）</li> <li>イベント開催しやすい形態（展示、露店、キッチンカー、フリーマーケットなど）</li> <li>災害時は避難場所、仮設住宅用敷地に活用</li> <li>（将来のための）空飛ぶ車の発着場スペース</li> </ul>	約1,450㎡	⑪水遊び広場と⑫大型遊具とは別途計上
	⑭ドッグラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型犬・大型犬のエリア分け</li> <li>インターパークなどのペットショップとの連携</li> <li>ペット同伴可能な休憩所・避難所の併設</li> </ul>	約1,500㎡	「道の駅 あがつま峡」のドッグランを参考
滞在機能	⑮RVパーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>RVパークを拠点とした周辺観光</li> <li>災害時には車中泊避難所として活用</li> </ul>	約420㎡	10台のRVパークを想定 「日本RV協会」より、RVパーク1台当たりの面積は28㎡と設定 「駐車場設計・施工指針 同解説（H4.11（公社）日本道路協会）」より車路は7mと設定
災害支援機能	⑯コンテナハウスの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテナハウスを活用したシャワー室（水遊び広場利用者や、トラックドライバーの利用を想定）</li> <li>コンテナハウスを活用したチャレンジショップ</li> <li>災害時には避難所などでの活用</li> </ul>	約200㎡	5台のコンテナの設置を想定 「道の駅 前橋赤城」のコンテナ広場（6台で260㎡）を参考
その他	⑰駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間利用可能な駐車場</li> </ul>	約23,000㎡	新4号国道の交通量より算出（大型：78台、小型車：576台）
	⑱調整池		約10,000㎡	
	⑲緑地			敷地形状に併せて整備
想定建物面積			4,381㎡	
導入施設面積 計			41,601㎡	